

令和5年度学校評価アンケート結果からの考察

教育活動アンケートへのご協力ありがとうございました。

今年度の学校教育目標の重点目標に合わせて各項目ごとにお子様の様子を通してアンケートにご回答いただきました。この結果を全職員で共有し、今後の学校運営の計画、改善に生かしていきたいと思えます。

(1) 確かな学力の育成

○自ら学び、自ら考える子

それぞれの教科でねらいを明確にし、子どもたちが興味をもって取り組めるよう教材研究を行い、導入や単元計画を工夫しました。学年内での交換授業を行ったり、理科支援員やALT、学校図書館司書と連携して授業を行ったりしました。

児童はほとんどが進んで学習に取り組むことができたと答えています。

○学び合い、高め合う子

学習の中でグループ活動や GIGA 端末を活用しながら、考えをもち、伝え合い、認め合い、育ち合う ことで学習のねらいを達成していくよう授業の工夫をしています。児童の中でもその学習形態が浸透しており、友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりしながら、理解を深めています。保護者の皆様にもその学習の様子と、学びの高まりが伝わるよう、教職員でも研究授業等を重ね、教える教師からファシリテートする教師へ、授業力向上を目指して取り組んでいきます。

(2) 豊かな心の育成

○相手の気持ちを考える子

「かわさき共生＊共育プログラム」「ふれあいにじふじ道徳」「一人一人を大切にする週間」「SOS の出し方受け止め方教育」などの取組を通して、自他共に大切にする心の育成に取り組んでいます。相手の気持ちを考えて行動することができているとほとんどの児童が答えています。保護者の方から見るとできていないと思われるところもあるようです。どの場でも相手の気持ちや状況を考えて行動できるようさらに教育活動全体を通して取り組んでいきます。

○お互いのよさを認め合う子

今年度はフレンドリー活動（縦割り班活動）を本格的に再開するなど、他者との関わりを大切に活動を行ってきました。その中で教師による価値づけ、子ども同士の認め合いにより自己肯定感の向上を目指してきました。来年度はさらにフレンドリー活動や委員会、クラブ活動等、いろいろな場でいろいろな人と関わる機会を充実させ、互いのよさを見つけ、認めることができる心を育みます。

(3) 健やかな心身の育成

○心も体も大切にする子

年に3回の「生活のふりかえりアンケート」や、ほっとポストを通して子どもたちの声を聞き、担任、コーディネーター等と連携して、不安や心配事への早期対応に努めています。学校巡回カウンセラーも定期的に来校し、保護者、児童の相談にあたっています。子供たちは、困ったことがあると担

任に相談したり、支援教育コーディネーターに相談したいとほっとルームを訪ねたりする様子が見られます。相談があった時には丁寧に対応することを心掛け、相談したことで心が軽くなったと思ってもらえるように取り組んでいます。相談することができないと答えている10%程の児童がいることを意識し、より相談しやすい環境づくりに努めます。

○安心・安全に生活する子

養護教諭による姿勢や感染症対策についての保健指導、栄養士による食育指導、様々な災害を想定しての防災・防犯訓練や交通安全教室などを年間を通して行いました。避難訓練に子供たちは真剣に取り組み、避難経路や自分の身の守り方について学んでいます。学んだことを家庭でも共有していく必要があると感じています。保護者も参加する引き取り訓練についてもより実践的な方法を検討し、実施していきます。今年度は教職員の不審者対応研修も行いました。

(4) 地域に開かれた魅力ある学校づくり

○地域とともに育つ子

学年だより、学校だより等のおたより、ホームページ、ミマモルメの配信メール等を通して、教育活動の内容等、情報発信に努めました。地域の方から学校だよりを楽しみにしています、との声も聞かれうれしく思います。子供たちは学習の中でも地域に出かけていき、地域の様子や良さを感じられる機会も増えており、地域に愛着を感じているようです。今年度は地域の夏祭りなども再開し、子どもたちも大変楽しんでいました。

PTA活動やコミユスク会議での話し合いやご意見を受け、より地域に開かれた学校づくりに向け、連携して取り組んでいきます。

来年度の50周年記念式典に向けて実行委員会を立ち上げ、地域とともに50周年を祝う準備に取り組んでいます。

※子どもたちがこれからの未来を切り拓いていくために、どのような資質能力が育ってほしいですか。

